

第3期財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成14年10月1日～平成15年9月30日)

はじめに

第3期も前期に引き続き、当財団の基本姿勢であるグローバルな視点に立ち、地域に根ざした地道な活動を基本姿勢として、(1) 自然環境の保全活動および研究活動に対する助成と(2) 財団独自の諸活動を事業の2つの柱として諸事業を実施し、新規の独自事業を開始した。

1. 助成事業

(1) 一般助成(公募を行い、選考委員会で決定)

当財団の第2回目の助成事業を「第2回財団法人こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」として実施した。

応募期間は、平成14年11月1日から平成15年1月31日まで。専用の申請書により受付けた総数27件の内、選考委員会にて15件の助成先を決定した。なお、選考委員会の審議の過程で助成申請額を一部減額したものもある。また、決定後1件について、申請側の都合により辞退があり、最終助成先は14件となった。平成15年3月29日に財団事務所所在地にて助成金交付式を開催し、助成先に対して、助成決定書を授与すると共に、4月5日に各助成決定先へ助成金を交付した。助成総額は342万6千500円であった。

(2) 特別助成(緊急に助成が必要な事業に対し、選考委員会で決定)

第3期事業計画書に盛り込まれていた「特別助成」は該当案件がなく、実施を見送った。

○助成先一覧(一般)

I.D.No.	助成対象団体名	申請者名	住所	活動名	助成額
1	青田川を愛する会	桑原清作	上越市	青田川の環境美化、親水事業	230,000
2	NPO法人 エコロジーネットワーク	片岡廣夫	新潟市	ハッチョウトンボの生息地環境調査と住民活動体制づくり	230,000
3	魚沼フィールドミュージアム協会	河合佳代子	広神村	ふるさとの川・アカザプロジェクト	296,500
4	NPO法人加治川ネット21	若月 学	新発田市	イバラトミヨの加治川流域生息調査	200,000
5	NPO溪流再生フォーラム	飯塚 友章	新潟市	柏崎前川の陸封(河川)型ヤマメの保護増殖・第2年目事業	250,000
6	五泉トゲソを守る会	高橋荘三	新潟市	分布南限域のイバラトミヨの遺伝的特徴の把握と保全調査	290,000
7	(財)水と緑の惑星機構里地ネットワーク	竹田純一	東京都	トキの野生復帰をめざした餌場環境の整備	250,000
8	三条ホテルの会	小林良範	三条市	炭焼き活動を通しての里山環境の保全及び水生生物の生息環境の改善	300,000
9	社会福祉法人宝が丘保育園	富樫晃一	加茂市	自然公園下流の小川を対象に、蛍生息に向けた川の改良事業	210,000
10	新潟県学校ビオトープ連絡協議会	五十嵐実	豊栄市	とよさか「田んぼの学校」～馬河渡の再生プロジェクト	220,000
11	新潟砂丘の会	阿部幸雄	新潟市	新潟県海岸植生調査	300,000
12	ブラックバス問題新潟委員会	橘由紀夫	新潟市	妙高高原いもり池ブラックバス駆除作戦	250,000
13	巻町ほたるの会	斎藤文夫	巻町	ほたるの里自然学校	200,000
14	めだかの学校	久住裕一	見附市	めだか池周辺整備と池造成後の動植物推移調査	200,000

2. 調査研究事業

(1) 里山の保護・保全活動

山林の荒廃に代表される「里山問題」について、中静理事から提言をいただいた「越路モデル」の研究の在り方を深めることを目的として、越路町の昔の山の暮らしを知る地元の識者と越路町の里山についての懇談会を開催した。

事業名：越路の里山を考える会

期 日：平成15年7月17日（木）

会 場：松籟閣

出席者：地元林業家白井忍（林業家）、関谷守夫（製材業）、嶋悌司（財団専務理事）、金子与止男（財団理事）、中静透（財団理事）、玉川佐久良（元林野庁九州営林局長）、渡辺茂（森林インストラクター）、松井進一（朝日酒造）、安藤正芳（朝日酒造）、平澤聡（財団事務局） 以上10名

3. 普及啓発事業

(1) 水辺環境の保護・保全活動

信濃川を新潟県の自然環境の代表的シンボルとしてとらえ、信濃川流域の環境保護、保全の活動をおこなっている個人及び団体のネットワークづくりを促す目的で、信濃川の上流から下流で活動する団体（個人）を対象にワークショップを開催した。

事業名：信濃川の今を考える会

期 日：平成15年7月19日（土）

会 場：信濃川会館（新潟市）

参加団体数：17団体、48名（内：財団6人）

(2) 水と緑を尊ぶ心を育てる自然学校事業

水と緑の自然環境を大切にすることを育む環境教育に関する事業として、子ども及び保護者を対象に、水と緑を尊ぶ心を育てる自然体験学校「水と緑の自然学校」事業を新潟県内で自然体験活動を進めている活動団体と協力して、県内各地にて5月より9月まで全6回を計画し内5回を実施した。（8月のキャンプは最小募集人員を割り中止）

参加者総数：135名（大人、子どもを含む）

①開校式及び記念講演会

事業名：水と緑の自然学校 開校式

期 日：平成15年 4月19日（土）

会 場：ハイブ長岡2F会議室

記念講演：佐藤初雄 氏（NPO 法人国際自然大学校 代表）

参加者：80名

②自然学校の開催実績

期 日	内 容	事業連携団体	行 程
平成15年5月31日 ～6月1日	生き物の宝庫 福島潟で自然を楽しもう	NPO 法人ねっとわーく福島潟	1泊2日
平成15年6月14日 ～6月15日	北魚沼コメコメランドで親子体験ウィークエンド	魚沼フィールドミュージアム協会	1泊2日
平成15年7月20日	親子で楽しむ自然体験学校～センスオブワンダー	新潟県ネイチャーゲーム協会	1泊2日

～7月21日			
平成15年9月13日	森と遊ぶ「子どもフォレスター学校」	NPO 法人木と遊ぶ研究所	日帰り
平成15年9月13日 ～9月14日	森林インストラクターと学ぶ子ども樹木博士学校	新潟県森林インストラクター会	1泊2日

(3) 会報を年4回定期発行する。

- ①平成14年10月20日 第5号発行 (A4版)
- ②平成15年 1月20日 第6号発行 (A4版)
- ③平成15年 3月 臨時号発行 (葉書版)
- ④平成15年 5月20日 第7号発行 (A4版)
- ⑤平成15年 7月31日 第8号発行 (A4版)
- ⑥平成15年 9月20日 臨時号発行 (A4版)

(4) 当財団の目的・活動内容等を記載したパンフレットの作成及び配布をおこなった。

- ・財団法人パンフレット A4 (三つ折) 10,000部
- ・水と緑の自然学校パンフレット A4 (三つ折) 8,000部
- ・ 〃 チラシ (計6団体) A4 10,000部

4. 会員募集

(1) 第3期末 (9月30日現在) の会員数は以下のとおりである。

- ①個人会員 618人 (社員:164名、社外:454名)
- ②法人会員 76法人 計 694

(参考) 第2期末 (9月30日現在) の会員数

- ①個人会員 552人
- ②法人会員 66法人 計 618

(2) イベントスタッフ制度の運用を開始。

事業名: (財) こしじ水と緑の会「イベントスタッフ」登録制度

期 間: 毎年4月1日～翌年3月末日までの1年間

登録者: 平成15年度 52名 (全て朝日酒造の役員及び従業員)

財団支援活動: 水と緑の自然学校開校式スタッフ協力 参加12名

研修活動: 草笛に集う会へ参加 7名

5. 収益事業

第3期事業計画書に盛り込んだ収益事業を以下の通り実施した。

(1) 財団所有の建物を一部賃貸する建物賃貸契約を朝日商事株式会社と結び、平成14年10月より賃貸料収入を得た。

当該の賃貸料収入額は、693,000円であった。

(2) 朝日酒造株式会社の迎賓館「松籟閣」とその敷地管理業務を受託するため、平成14年10月より管理契約を朝日酒造株式会社と結び、受託金収入を得た。

当該の受託金として3,780,000円を得、作業に係る賃金として1,035,385円を支払った。

6. 土地取得のための積立て

(財) こしじ水と緑の会

第3期予算書の土地取得のための引当金額の積み立てを行なった。
山林取得積立預金 2,000,000円

7. 基本財産の充実

財団の健全運営を目的として、会員拡大と並行して寄付を募った。期末（9月30日現在）の寄付合計は以下のとおりである。

(1) 法人寄付	8件	211,172円
(2) 個人寄付	33件	334,559円
(3) 朝日酒造	17件	7,666,275円
(4) // (会長、役員、管理職)	29件	7,044,000円
(5) // (基本財産収入)	1件	8,300,000円
合 計		88件
		23,556,006円
うち基本財産への繰入		15,344,000円

以上